

厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表について

1. 授業計画書（シラバス）の作成・公表に係る取組の概要

教育課程編成委員会の実施（年2回）

カリキュラム編成会議の実施（年2回以上）

上記2つの会議を踏まえて年間授業計画を確定し、シラバス作成を2月下旬から実施し、3月中旬にホームページ上に公表する

2. 授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要

- ・単位は、前期試験受験者・後期試験受験者に対して考査の上、与えられる。ただし、前期試験・後期試験は、科目ごとに出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は受けることができない。
- ・科目ごとに出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、補講への出席・課題の提出を行った上で追試験を受けることができる。ただし、補講は出席時数が授業時数の2分の1に達した者に実施する。
- ・前期試験・後期試験において著しく点数が低い者は、再試験を受けることができる。
- ・成績は、秀・優・良・可・不可に分け、秀・優・良・可を合格とし、不可を不合格とする。成績評価は、期末試験・授業期間中に実施するテスト・実習の成果・履修状況等を総合して判断する。
- ・合格者の成績評価割合は、成績最上位の10%程度を秀、30%程度を優、50%程度を良、10%程度を可とする。
- ・合格した授業科目については、所定の単位を取得したものとする。

3. GPAの設定・公表に係る取組の概要

- ・学期末に秀・優・良・可・不可の評価を行う。
- ・上記の評価に基づきGPAを算定する。

（算定方法）

①1単位あたり秀：4.0、優：3.0、良：2.0、可：1.0、不可：0とする。

②秀（4.0×取得単位数）＋優（3.0×取得単位数）＋良（2.0×取得単位数）＋可（1.0×取得単位数）
＝GPA換算数

③GPA換算数÷総履修単位数（不可の履修単位数を含む）
＝個人のGPA（小数点3位以下を四捨五入）

（実施時期）

前期（4月から9月）、後期（10月から3月）の2回実施し、3月末に年間GPAを学務システム上で算定する。

4. 卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要

(1) 進級基準

2年制学科：1年から2年へ進級時46単位

(2) 卒業の認定方針

各学科とも、修業年限以上在籍し各学科所定の単位数を取得するとともに、以下の素養を身につけた学生に対して卒業を認定する。

ITビジネス学科	ソフトウェア開発、プログラミングや国家資格の取得を通じ幅広い業界で活躍できるデジタル人材としての専門知識と技能を身につけ、職業や实际生活に必要な能力を養成し教養を向上させる。
会計学科	民間企業で経理職や税理士、会計士として仕事をする上で必要となる知識と的確な技能を身につける。職業や实际生活に必要な能力を養成し、教養を向上させる。
経理・情報研究学科	経理・情報それぞれの専門知識と技能を身につける。職業や实际生活に必要な能力を養成し、教養をさらに向上させる。
法律学科	文化教養に関する正しい知識と的確な技能を身につける。職業や实际生活に必要な能力を養成し、教養を向上させる。
行政学科	1年という短い期間で文化教養に関する正しい知識と的確な技能を身につける。職業や实际生活に必要な能力を養成し、教養を向上させる。
法律研究学科	文化教養に関する正しい知識と的確な技能をさらに身につける。職業や实际生活に必要な能力を養成し、教養をさらに向上させる。

(3) 卒業単位

1年制学科：40単位

2年制学科：86単位

なお、教育課程に定められた必修科目については全て取得することを要する。

(4) 卒業判定会議を卒業年次の2月末に実施する。